

設備、人材面を強化

5カ年計画 売上げ20%増目標

金属スクラップの加工処理・販売を手掛けるアルメック(本社「愛知県豊明市前後町三ツ谷1361、星河年男社長)はこのほど5カ年計画を発表した。施設・加工設備の増強、人材育成を最重視し、ソフト・ハード両面の強化を図る。これにより高付加価値な製品加工とサービスにつなげ販売量を拡大し、厳しい環境の中でも県内シェアを高めていく。売上げ・扱い数量ともに08年度(見込み)比20%増をめざす計画だ。



星河社長

が本稼働に入った後、年で49件の実績を上げ、安全作業とコスト削減に貢献している改善案を行い、月間加工処理能力を2万tに引き上げる。西工場の増強も新卒採用活動を継続し、毎年3人採用していく。加えて、昨年嘗て母材加工の回転率を上げ、相場変動への機敏な反応、まどまどした職のみでスタートした読書会「本鶏クラスタ」取引への対応を図る。

「人間力の向上を基に本コンサートに掲げた目標の達成に向け、2月内コミュニケーションを促進して全社的な団結を図っていく。昨年1

第2の創業開けを 第一回社員総会



アルメックは先月25日、愛知県豊明市の迎賓館サ・グランデュオ、経営コンサルタスを含む社員に加えて、生産部・非鉄部が

00tを扱う。鉄入スクラップを中心に非鉄アルメックとして初めで迎える新年。単なる名称変更にとどまるのではなく、創業50周年で大府が鉄を主体にして

同社は豊明工場(敷地3300平方メートル)と大府工場(同1万1000平方メートル)の2工場を構え、月間約1万4000tを扱っている。創業50周年を機に、第2の創業開けにむかいたい志を

秀樹専務は「人間の質を持つてほしい。一人ひとりが自身の役割を認識し、存在価値を高め、顧客様から喜ばれ、存在となり、永続的な環境を築いていこうと鼓舞した。

その後、部署別5カ年計画の発表が行われ、大府・豊明の独立採算体制の確立、組織運営の刷新、営業の美しさをアピールし、現場の活性化に向けた取り組みが発表された。

の品質確認を容易にするシステムを設置などの新しいビジネスモデルが発表された。

が資料のもと現状の把握、課題の抽出を実施。生産部・非鉄部が

を労う表彰式が行われた。